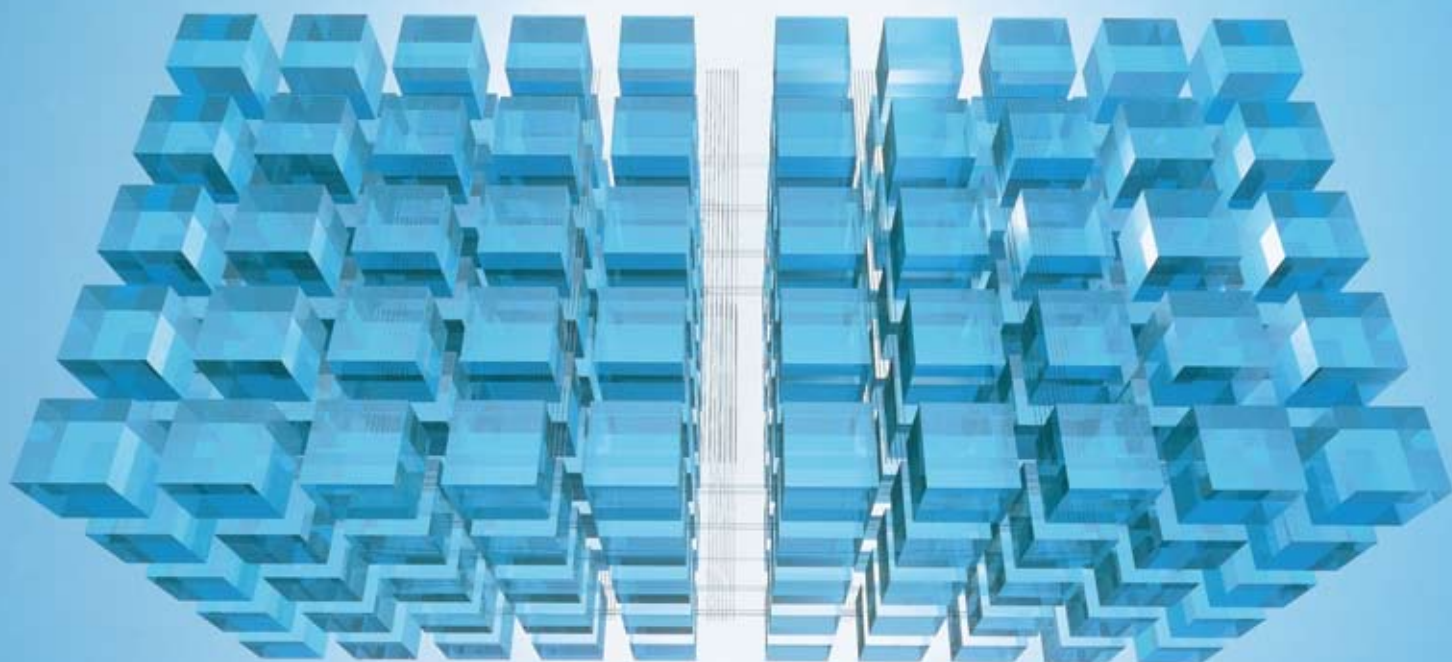


早強性膨張材

太平洋N-EX



N-EX

太平洋N-EXとは

太平洋N-EXは、石灰系特殊クリンカーを主成分とする無機系の早強性膨張材で、セメントの初期水和及び水和発熱を促進させます。その結果太平洋N-EXを適量混和することによりコンクリートの強度を早期に出すことができ、コンクリート製品製造に於いて蒸気養生なし、あるいは簡単な蒸気養生を併用することにより早期脱型、収縮ひびわれの抑制、ケミカルプレストレスの導入が可能になります。この様に、太平洋N-EXは省エネルギーに大きく寄与し地球環境負荷低減に貢献する材料であります。

太平洋N-EXの特徴

1 早強性

- ・前養生及び蒸気養生時間が大幅に短縮でき早期脱型が可能になります。
- ・型枠回転率の向上による原価低減及び納期短縮が図れます。

2 膨張性

- ・収縮ひびわれの抑制およびケミカルプレストレスの導入が可能となります。

3 作業性

- ・スランプ及び空気量の経時変化は通常のコンクリートと同様であり、従来の早強性混和材にみられたスランプドロップがありません。

4 耐久性

- ・圧密効果により密実なコンクリートが製造でき、通常のコンクリートと同等以上の耐久性が得られます。

太平洋N-EXの用途

ボックスカルバート、アーチカルバート、PC板セグメント、高強度ヒューム管、鉄筋コンクリート管、合成鋼管、鋼管ライニング、鋳鉄管ライニング等、さまざまな用途にご利用いただけます。

使用方法

太平洋N-EXは使用目的・時期に応じて以下のようにご使用ください。

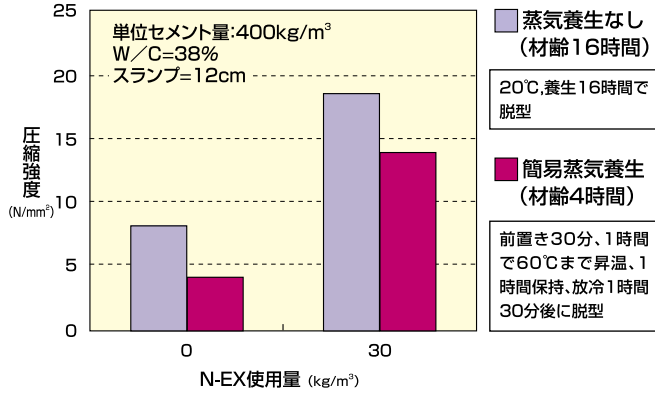
対象製品		使用目的	N-EX使用量 (kg/m ³)	養生方法	
				春～秋期	冬期
ヒューム管	1種管	●蒸気養生費節減	20～40	簡易蒸気養生または 蒸気養生なし	簡易蒸気養生
	2種管	●ケミカルプレストレス導入	30～50		
振動成型品		●早期脱型(3～4時間) ●蒸気養生費節減	25～40	簡易蒸気養生または 蒸気養生なし	簡易蒸気養生
		●ひび割れ抑制	20～30		

荷姿

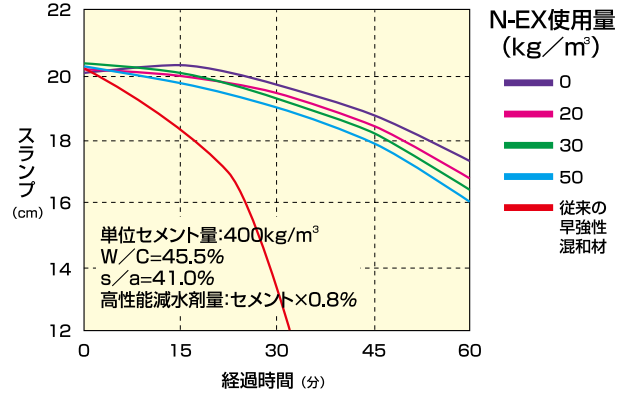
袋物(20kg入り)、コンテナ品(1t)、バラ輸送等があります。

太平洋N-EXの性能

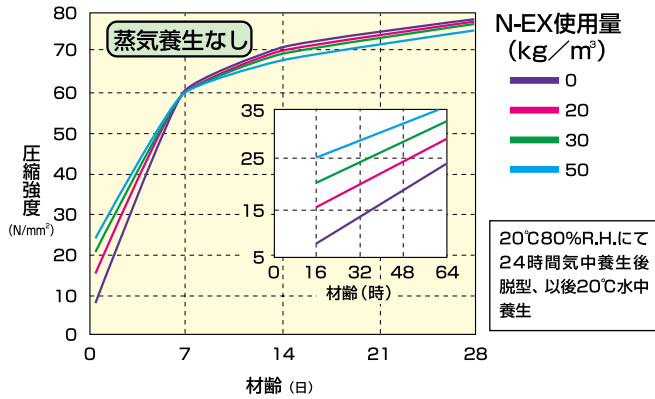
■早強性



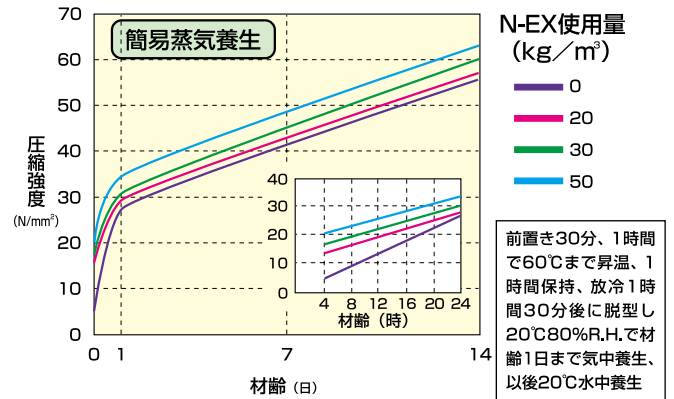
■スラブの経時変化例



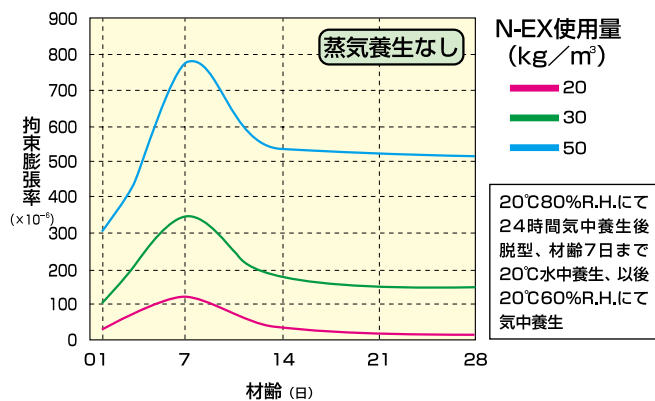
■圧縮強度



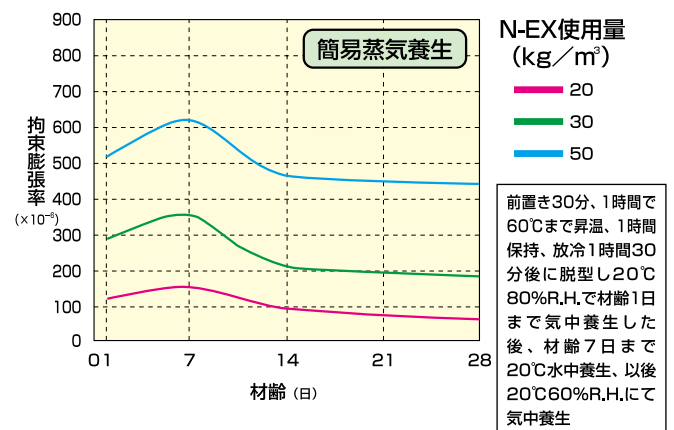
■圧縮強度



■拘束膨張率



■拘束膨張率



保管上の注意

- ◆開封した場合はなるべくその日のうちにご使用ください。使い残しが出た場合は、防湿袋か缶に入れ密封保管し、2~3日中にご使用ください。
- ◆貯蔵に際しては直接床に置かずにパレットの上に積んで、湿気の少ない倉庫に保管してください。

「太平洋 N-EX」の使用方法および注意事項

●コンクリートの製造（計量・投入・練混ぜ）

(1) 計量

- ◆20kg 袋品を解袋して投入する場合には、20kg/ m³では1 m³に対して1袋の投入になりますが、コンクリートの練混ぜ数量の関係で端数が出る場合には、予めバケツに計量して投入してください。
 - 過剰に投入された場合、大幅に強度が低下する危険性がありますので規定量を正確に計量してください。

(2) 投入

- ◆プラントミキサに直接投入することを原則とし、所定の混和材投入口から投入してください。投入口が設置されていない場合は、粗骨材の排出口から投入してください。
- ◆投入箇所は、膨張材がより均一に混合される場所で、かつ途中で付着、固結が生じない箇所を選定してください。連続して投入する場合は、投入口に付着、固結が生じないように小まめに清掃してください。
- ◆投入順序は、原則としてセメントと同時に投入してください。（遅くとも粗骨材の投入が完了するまでに終了することが理想です）但し、水とセメントの投入が先行する場合には、細骨材と同時に投入してください。

(3) 練り混ぜ

- ◆各材料と十分に練り混ぜ、均一な状態になるよう練り混ぜ時間を日本建築学会／膨張材・収縮低減剤を使用するコンクリートの調合設計・製造・施工指針（案）同解説をご参考に、基準の練り混ぜ時間（JIS A 1119により定められた練り混ぜ時間）に対し延長してください。

【強制練りミキサの延長時間の目安】



- 練り混ぜが不十分であると局部的に膨張材が過剰となり、コンクリートが硬化後、部分的に崩壊する危険性があります。

●各学会における練り混ぜ時間の延長

※日本建築学会／膨張材・収縮低減剤を使用するコンクリートの調合設計・製造・施工指針（案）同解説

強制練りミキサ：基準の練混ぜ時間+25秒以上

可傾式ミキサ：基準の練混ぜ時間+45秒以上

膨張材投入時期が他の材料の投入時期とずれた場合、状況に応じ、ミキサの練混ぜ時間を少なくとも、さらに10秒間長くする必要があります。

※土木学会／2017年制定コンクリート標準示方書（施工編）

膨張コンクリートは、膨張材やその他の材料が均等質になるまで、十分に練り混ぜなければならない。



〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー15階 ☎03-5832-5218

URL <https://www.taiheiyo-m.co.jp>

営業本部 混和材営業部

海外営業部	〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー15階	☎03-5832-5226
北海道営業部	〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西5-1-3 日本生命北門館ビル	☎011-221-5855
東北支店	〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町1-1-1 大同生命仙台青葉ビル	☎022-221-4511
東京支社	〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー16階	☎03-5832-5243
中部支店	〒453-0801 愛知県名古屋市中村区太閤3-1-18 名古屋KSビル	☎052-452-7141
関西支店	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル	☎06-7668-6001
広島営業部	〒732-0828 広島県広島市南区京橋町1-23 大樹生命広島駅前ビル	☎082-261-7191
高松営業部	〒760-0050 香川県高松市亀井町7-15 セントラルビル	☎087-833-5758
九州支店	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4-2-31 第2サンビル	☎092-781-5331

⚠ 安全上の注意事項



本製品はカタログに記載されている方法でご使用下さい。

- 本製品はセメントと同様に pH12 ~ 13 の強アルカリ性を示します。使用の際は、眼・鼻・皮膚・及び衣類に触れぬよう保護具（保護メガネ、ゴム手袋、マスク等）を着用の上で使用下さい。
- 万一目に入った場合は、速やかに清浄な水で洗眼し、医師の診察を受けて下さい。
- 万一飲み込んだ場合は、多量の水を飲ませ吐かせた後、医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着すると肌荒れを起こすことがありますので、直ちに水洗いして下さい。

●本製品の仕様は予告なしに変更することがありますのでご了承願います。

●本カタログに記載された事項は、弊社の実験結果に基づくものでありますが、各種条件により実際の現場結果を確実に保証するものではありません。